



A 試合会場レポート

試合番号 121

開催日 2023/12/16

令和5年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 男子 会場：東京体育館

観客数： 6,709	開始時間： 15:45	終了時間： 18:02	試合時間： 02:17	主審： 浅井 唯由	副審： 服部 篤史
------------	-------------	-------------	-------------	-----------	-----------

ウルフドッグス名古屋



監督：Valerio Baldovin
コーチ：深津 貴之

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	25	第1セット 【 00:35 】	23	1
	20	第2セット 【 00:26 】	25	
	25	第3セット 【 00:27 】	19	
	34	第4セット 【 00:40 】	32	
		第5セット 【 】		

ポイント 【】内はセット時間 ポイント
- ()内は交代選手 -

東レアローズ



監督：篠田 歩
コーチ：阿部 裕太

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

本日の試合はこの1週間で準備してきたことが発揮できた試合でした。東レに対して最大限の敬意を表したいと思います。

コート上で選手全員がしっかりと計画を実行した。そして試合中最後のホイッスルまで集中してエネルギーを保つことができていたと思います。

WD名古屋のファンの皆様、今日は長い距離をかけて会場に足を運んでいただき、我々を常に鼓舞してくれました。ホーム名古屋から遠い場所ではありましたが、まるでホームゲームのように戦うことが出来ました。

昨年の悔しい思いもあり、ここに立つためには非常に厳しい道でありました。今に至っては明日の大きな一戦に向けて集中していきたいと思えます。

Enjoy the competition!

(競い合いを楽しみます)

<監督コメント>

今日の試合は第3セットを抜いて、どちらに転んでもおかしくない試合だったと思います。ただし、ここぞの1本の部分はWD名古屋の方が上だったと思います。

天皇杯で戦ってきて、チームとしての方向性は見えてきたので、これを次はVリーグにつなげられるよう、準備していこうと思います。

本日はたくさんの方の応援ありがとうございました。

25	KUREK	王	第1セット	高橋	富田	23
	()	()		Padar	酒井	
	山崎	高梨		小澤	上條	

リベロ： 小川 リベロ： 山口 渡辺

20	山崎	KUREK	第2セット	高橋	富田	25
	()	()		西本	()	
	傳田	王		Padar	酒井	

リベロ： 小川 リベロ： 山口 渡辺

25	KUREK	王	第3セット	高橋	富田	19
	()	()		西本	()	
	山崎	高梨		Padar	酒井	

リベロ： 小川 リベロ： 山口 渡辺

34	山崎	KUREK	第4セット	高橋	富田	32
	()	()		難波	()	
	傳田	王		Padar	酒井	

リベロ： 小川 リベロ： 山口 渡辺

34	山崎	KUREK	第5セット	高橋	富田	32
	()	()		難波	()	
	傳田	王		Padar	酒井	

リベロ： 小川 リベロ： 山口 渡辺

<要約レポート>

一昨年の覇者ウルフドックス名古屋と7年ぶりの優勝を狙う東レアローズの一戦。第1セット、両チームとも安定したレシーブから多彩な攻撃でサイドアウトの応酬が続く。そのまま終盤までもつれ込むが、東レの攻撃を粘り強く拾ってつなぎ、王のブロックとサービスエースで連続得点を奪い2点差をつけ、最後はクレクのアタックでWD名古屋がセットを先取した。

第2セットは序盤にパダルのアタック等で東レがリードするが、WD名古屋は傳田のブロック、山崎のサービスエースで点差を縮め、クレクのブロックで追いつく。しかし、東レは小澤のアタックや高橋のブロックで点差を広げてセットを取り返す。

第3セットも序盤はサイドアウトが続くが、中盤にWD名古屋は山崎のサービスエースが飛び出すと、そこから流れをつかみセットを奪い返した。

第4セットは序盤にWD名古屋は山崎が東レのパダルのアタックをブロックしリードを奪う。その後もWD名古屋は永露が攻撃陣を操り、点を重ねてリードを守る。対する東レもパダルの活躍で追いつき、終盤は一進一退の攻防となるが、最後は山崎のブロックが決まり、WD名古屋が激闘を制して決勝進出を決めた。

作成者： 渡部 千穂